

もうすぐ夏休みも終わります。心と体の休養はとれましたか。今回は

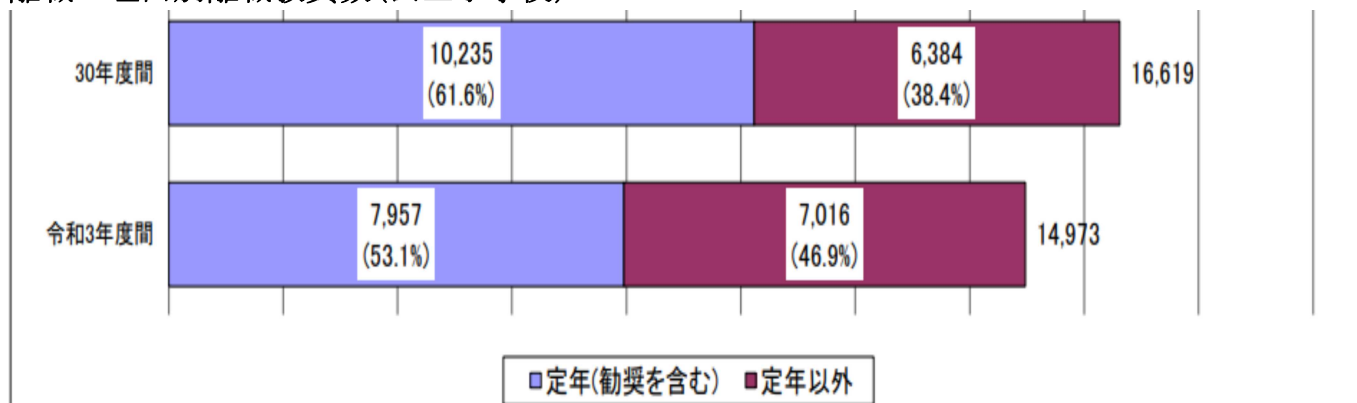
- 1 「公立小学校離職の理由別離職教員数調査（一部抜粋）」の結果  
令和4年度学校教員統計中間報告（学校教員統計調査の結果中間報告）（7月28日報道発表）
- 2 特に気になる箇所（定年と定年以外の離職者数の変化）について（私見）

## 公立小学校離職教員数は今までより減少？

1 「公立小学校離職の理由別離職教員数調査（一部抜粋）」の結果  
 令和5年7月28日に発表された学校教員統計調査によると公立小学校教員の離職者数は前回の平成30年度に調査した結果と比べて

- 全体の離職者数は16619人から14973人と1646人減少している。
- 内訳を見ると退職者（奨励を含む）が10225人から7957人に減少。定年以外は6384人から7016人に増加。

離職の理由別離職教員数(公立小学校)



離職の理由別 離職教員数 (公立小学校)

	定年(勸奨を含む)のため	定年以外							計	
		病気のため うち精神疾患	死亡	転職のため	大学等入学のため	家庭の事情のため	職務上の問題のため	その他		
30	10,235	661	457	123	1,715	39	1,633	82	2,131	16,619
令和3年度間	7,957	757	571	139	2,083	44	1,882	111	2,000	14,973

2 特に気になる箇所（定年と定年以外の離職者数の変化）について（私見）

公立小学校の離職者数のうち、定年（奨励を含む）と定年以外の全体の割合を見ると平成30年度が61.8%と38.2%に対して令和3年度は53.1%、46.9%と定年以外が半分に迫る勢いです。さらにその理由を見てみると増加数が多い順にベスト3は「転職368人」「家庭の事情249人」「精神疾患114人」となっています。平成27年と平成30年の増加数から比べると「転職214人」「精神疾患126人」「大学等入学8人」の順でその他の項目は平成27年度より減少しています。定年以外の離職者の原因で増加し続けているのは「転職」です。平成3年度には「転職」を理由とする離職教員数が2000人を超えました。これからも転職者は増加し続けていくことが考えられます。離職理由も「死亡」を除いてその他の項目の増加数は過去最高です。これでは小学校教員数は足らなくなる一方です。私はその原因の1つに「自分らしさ」というキーワードがあると思います。自分らしく働けていれば働きがいも出てきますし、打開策も見いだせるのではないのでしょうか。私はそんな皆さんのサポーターとして一緒に考えていきたいと思っています。

連絡先は下記まで連絡をください。

[norix7364@wave.plala.or.jp](mailto:norix7364@wave.plala.or.jp)（小文字）または 090-7426-3034

午後8時～9時まで無料で相談に応じます。下記アドレスまで相談内容、相談日（相談日は第2希望まで記入してください。）を入れてメールまたは携帯に連絡してください。折り返し ZOOM によるミーティングIDとパスコードを送付させていただきます。相談を通して明日からはもっと自分を大事にできます。